

JA筑紫の自己改革

JA筑紫は、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を基本目標として、組合員の皆さまとの対話を大切にしながら、総合事業の強みを生かして「地域に必要とされるJA」であり続けるために「自己改革」に取り組んでいます。

取り組み事例

農業者の所得増大・ 農業生産の拡大

営農指導

各種講習会や、TAC(担い手対応除外)、営農指導員によるケースに応じた営農指導や相談活動を実施しています。また、行政などの関係機関と連携し、課題解決や新規作型の提案などさまざまなサポートに取り組んでいます。



農業人材の育成

新規就農者や農業後継者の育成を目的に、平成23年から「ちくし農業塾」を開講。第11期まで107名が修了し、ゆめ畑の出荷者や生産部会の部会員として活躍しています。



農畜産物の消費拡大

地産地消の推進や、新鮮で安全安心な農畜産物を提供する農産物直売所「ゆめ畑」を管内5市で運営。農畜産物の消費拡大と組合員の農業所得増大に取り組んでいます。



農産物品評会の開催

農畜産物の消費拡大や技術の改良、商品性の向上を図るため、農産物品評会を実施しています。昨年度は、野菜や果実、花きなど460点が出品されました。



取り組み事例 地域の活性化

ふれあい活動

組合員や地域の皆さまとの「つながり」を大切に、豊かで暮らしやすい地域づくりのため、食農教育活動や地域貢献活動などの「ふれあい活動」を行っています。



女性部活動

食を守り、農を支えるために料理教室などの実施や、仲間の輪を広げ、地域を支えるために健康・福祉・環境問題・防災等について学んでいます。また昨年度は、食品ロス削減の活動として家庭に眠る食品を寄付する「フードドライブ」に取り組みました。



青壮年部活動

食と農の大切さを知ってもらうために手作り看板の作成や、農業を次世代へ伝えるために学習田での食農体験を行っています。また昨年度は、webを活用した研修会に参加し、若手部員の活性化や仲間づくりなど、次世代のリーダー養成に取り組ましました。



総合事業を通じた地域への貢献

地域貢献型の融資などを販売し「子ども食堂」への寄付や、防犯協会などへ防犯資材の寄贈を行っています。



情報発信

「食」「農」「協同組合」の理解を深めるため、組合員向け広報誌「ふあみーゆ」をはじめ、地域住民向けコミュニティ誌「こみゆ」、各店舗で発行する「支店だより」の発行、身近な情報をお伝えするインスタグラムの運営に取り組んでいます。

